

## R7小学校の実施状況

- **深川小学校:地域と手を取り合う「連携のネットワーク」**
  - **特色:** 3年生は JA 婦人部との豆腐作り、4年生は深川東高校での青空園芸教室、5年生は北部耕地出張所や深川土地改良区との農村環境学習など、外部講師との連携が多彩です。
  - **注目点:** 総合的な学習だけでなく、社会科や理科ともリンクした「教科横断的な学び」が特徴です。
- **一巳小学校:じっくり向き合う「探究のサイクル」**
  - **特色:** 3年生は果樹栽培やリンゴ摘果作業、4年生はジャガイモ定植や収穫、5年生はお米の調べ学習や体験学習を実施。(各 20 時間)など、一つの作物に時間をかけて取り組んでいます。
  - **注目点:** 体験だけでなく、事前・事後の「調べ学習・振り返り」にも時間を割いており、深い学びを実践しています。
- **北新小学校:圧倒的な「調査・研究ボリューム」**
  - **特色:** 3・4年生での「稲作についての調べ学習・発表・振り返りや校外学習」に各 50 時間という膨大な時間を投入しています。
  - **注目点:** 地元農家や専門機関(空知農業改良普及センター等)を招いた専門性の高い学習を行っています。
- **納内小学校:学級園で育む「畑のふしぎ」**
  - **特色:** 3・4年生は「畑のふしぎ」として各 32 時間、豆腐づくり体験として各 2 時間、5・6年生は「作物を育てよう」として各 10 時間と、継続的な学級園での活動が中心です。
  - **注目点:** 3・4年生は 32 時間を掛け、総合的な学習の時間で、身近な学級園で畑作物への興味を育んでいます。
- **音江小学校:多様な作物を多角的に学ぶ**
  - **特色:** 3年生から枝豆、スイカ、サツマイモなど非常に多くの作物を扱いますが、特に 5年生は稲作やじゃがいも、大豆、きゅうり等畑作業で 10 時間を学びます。
  - **注目点:** 5年生の稲作では、総合的な学習での 4 時間に加え、社会科 11 時間、家庭科 3 時間と教科横断的に学習しています。
- **多度志小学校:伝統の「稲作フルコース」**
  - **特色:** 5・6年生では、田植え・稲刈りだけでなく「脱穀・精米」まで含めて 32 時間をかけて学びます。
  - **注目点:** 自分たちで育て、食べるという学習プロセスを、3・4年生での学級園での野菜づくり(23 時間)と併せて学習しています。

**小学校：学びのボリューム比較（総合的な学習の時間における年間学習時間）**

| 学校名    | 3 年生 | 4 年生 | 5 年生 | 6 年生 | 特徴                      |
|--------|------|------|------|------|-------------------------|
| 深川小学校  | 4h   | 7h   | 12h  | －    | 高学年に向けて段階的に深める構成        |
| 一已小学校  | 20h  | 20h  | 20h  | 10h  | 5 年まで毎年 20 時間を確保した計画的学習 |
| 北新小学校  | 50h  | 50h  | 9h   | 9h   | 中学年での「稲作」に圧倒的な時間を投入     |
| 納内小学校  | 34h  | 34h  | 10h  | 11h  | 「畑のふしぎ」をテーマに中学年で集中      |
| 音江小学校  | 12h  | 4h   | 10h  | 10h  | 5 年生の「田植え・稲刈り」を軸に構成     |
| 多度志小学校 | 32h  | 32h  | 33h  | 33h  | 全学年を通して 30 時間以上の高い水準を維持 |
| 時数     | 70h  | 70h  | 70h  | 70h  | 年間授業時数                  |